

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	延長保育事業							掲載ページ
								42
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局
		858,811	千円	254,114	千円	施策名	保育サービス	担当課
								子ども家庭局
								保育課

【Plan】計画 →					【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	保護者の就労形態の多様化や、残業等に伴う保育時間の延長への需要に対応するため、通常の保育時間を越えて、午後7時まで延長する「延長保育」の実施箇所数を拡充します。また地域の実状を踏まえ、子どもの生活リズムに配慮しながら、午後8時までの延長保育を実施します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	延長保育事業を実施する保育所の施設数を拡充します。 午後8時までの延長保育を拡充します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	延長保育事業を実施する保育所の施設数（午後7時まで）		148 箇所	153 箇所	149 箇所	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	実施箇所数を増やすことで、保護者の就労形態の多様化等に伴う保育の需要に対応できると考え、活動指標としました。				97.4 %		
	（最終目標と最終年度） 153箇所、（平成26年度）					順調	順調
						やや遅れ	
						遅れ	

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成26年度は、延長保育事業（1時間延長）の実施施設を1施設増設し、合計149施設延長保育を実施しました。また、午後8時までの延長保育（2時間延長）を検討していった結果、1施設において実施しました。 平成26年度の延長保育全体の延べ利用児童数は、18,407人であり、多様化する就労形態への対応として高い効果があります。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	国が示す補助基準額等に基づき補助を行っており、効果的に事業を実施しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
<p>保護者の就労形態の多様化に対応するため、事業の拡充を行います。「延長保育」の実施施設数を、引き続き拡充します。また地域の実状を踏まえ、子どもの生活リズムに配慮しながら、午後8時までの延長保育について拡充を図ります。</p> <p>平成27年度からは子ども・子育て支援制度に伴い、保育標準時間（11時間）開所時間内において、保育短時間認定の時間（8時間）を超えることに対する延長保育を、国の補助制度を活用しながら新たに実施します。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	夜間(長時間)保育事業						掲載ページ
							42
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		9,653 千円	5,714 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保護者の就労形態の多様化に伴い、夜間の保育需要に対応するため、午前7時から深夜0時まで利用できる「夜間保育所」を1施設開設しています。 今後は利用者の動向を踏まえて入所定員の拡大を検討します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	現在の施設で事業を継続し利用者の動向を踏まえて入所定員の拡大を検討します。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	夜間保育事業を実施している保育所の現状維持	1 箇所	1 箇所	1 箇所	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	保護者の就労形態の多様化に伴い、夜間の保育需要に対応するためには、夜間保育事業実施施設の維持が必要であると考え、実施数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度) 1箇所(現状維持) (平成26年度)			100.0 %		
					順調	順調
					やや遅れ	
	(最終目標と最終年度)				遅れ	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	現在の入所状況及び入所申込状況から考えると、現状1施設で対応可能と思われます。 平成26年度は延べ利用児童数は、551人/月であり、多様化する就労形態への対応として深夜にまで仕事が及ぶ保護者に高い効果があります。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	国が示す補助基準額等に基づき補助を行っており、効果的に事業を実施しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
保護者の就労形態の多様化等に対応するため、利用者の動向を踏まえながら事業を継続します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	休日保育事業						掲載ページ
							42
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		16,795 千円	21,619 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →					【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を） どのような 状態にした のか	日曜日、祝日及び年末に就労している保護者に対応するため、休日等に指定された保 育所を開所し、保護者の就労を支援します。			活動 実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動 計画	休日等に指定した保育所を開所します。						
活動 指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】	
	休日保育事業を実施している保育所の施設数	7 箇所	9 箇所	7 箇所	大変順調	活動指標の実績 を参考に、活動の 状況をチェック	
	日曜日、祝日及び年末に就労している保護者からの、休日等の保 育に対する高い需要があると考えられるため、活動指標としました。 （最終目標と最終年度） 9箇所（平成26年度）			77.8 %			
					順調	順調	
					やや遅れ		
	（最終目標と最終年度）				遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	保護者の就労形態が多様化する中、各区1か所で事業を実施しました。実施箇所数が目標数に達していませんが、平成26年度の延べ利用児童数は1,430人・日であり、多様化する就労形態への対応として効果があったことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	委託料は国の補助基準額をベースに実績に応じた額としており、合理的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
<p>保護者の就労形態の多様化に対応するため、市民ニーズに対応できている現状の箇所数を維持し、事業を実施します。</p> <p>また、平成27年度4月からの「子ども・子育て支援制度」の実施に伴い、休日保育加算として公定価格に組み込まれるなど、従前の制度からの変更点が発生します。変更点について、実施施設への説明を行い、連携することで変更点へのスムーズな対応を図ります。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	特定保育事業						掲載ページ
							43
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		1,920 千円	0 千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →					【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか パート就労などの多様な働き方を支援するため、週に2,3日程度または午前か午後のみなどの就労形態に応じて柔軟に利用形態を決めることができる「特定保育」を実施します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	週に2,3日程度または午前か午後のみなどの就労形態に応じて柔軟に利用形態を決めることができる「特定保育」を実施します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	特定保育事業を実施している保育所の施設数		5 箇所	5 箇所	3 箇所	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	パート勤務などの多様な就労形態に応じた、柔軟な保育に対する需要があると考えられるため、活動指標としました。 (最終目標と最終年度) 5箇所(現状維持) (平成26年度)				60.0 %		
						順調	順調
	(最終目標と最終年度)					やや遅れ 遅れ	

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成26年度の延べ利用児童数は415人・日であり、多様化する就労形態に対応しており一定の効果があったと考えられます。 また前年度（平成25年度）の延べ利用児童数639人・日からは減少しています。これに対応して、実施施設も5施設から3施設へと減少させており、市民のニーズの把握・分析、対応ができていると考え、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	委託料は国の補助基準額をベースに実績に応じた額となっており、合理的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
<p>これまで、特定保育を利用できた方（保育所の入所対象とはならないが、月64時間以上117時間までの就労等により定期的に保育が必要）については、平成27年4月から実施される「子ども・子育て支援制度」において、「保育短時間」の区分（月60時間以上120時間未満の就労等）での保育所等への入所の申込みができるようになります。</p> <p>このため、特定保育事業は平成26年度末をもって廃止となります。実施施設や利用者への説明を行うことで、制度変更へのスムーズな対応を図ります。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	急病の子どもを支える仕組みづくり							掲載ページ
								43
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立	担当局
		0	千円	0	千円	施策名	保育サービス	担当課
								子ども家庭局
								保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	仕事と子育ての両立を支援するため、保育所等の施設やボランティア、医療関係者、企業等の職場、保護者などが子どもの病気について理解を深め、相互に連携しながら、急病の子どもを支える仕組みづくりを推進します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	仕事と子育ての両立を支援するため、保育所等の施設やボランティア、医療関係者、企業等の職場、保護者などが子どもの病気について理解を深め、相互に連携しながら、急病の子どもを支える仕組みづくりを推進します。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	社会福祉研修所における研修の実施と企業などの職場に対する働きかけ	—	—	—	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	保育所等の施設が、子どもの病気時の対応についての理解を深めるため、社会福祉研修所において継続的に研修を実施します。 企業などの職場に対して、子どもの病気についての理解を深めるための情報提供を行います。 (最終目標と最終年度)					
	「ほっと子育てふれあいセンター」など各種団体による支援の促進	—	—	—	順調	順調
	「ほっと子育てふれあいセンター」など各種団体による支援の促進のための情報提供を行います。 (最終目標と最終年度)				やや遅れ	
				遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	保育所に対して、社会福祉研修所における研修を通じて乳幼児期の子どもの病気や、保育所などでの対応についての啓発を行ったことから、順調としました。この研修は、保育所等の施設が子どもの病気についての理解を深め、相互に連携しながら、急病の子どもを支えるものであり、その有効性は高いと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	保育課の課長級職員を研修の講師とするなど、必要最小限のコストで高い効果が得られるものと考えます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
<p>企業などの職場に対して、子どもの病気についての理解を深めるための情報提供の実施や、「ほっと子育てふれあいセンター」など、各種団体による支援の促進のための情報提供を行います。</p> <p>また、本取組みは、「病児・病後児保育の充実」や「ほっと子育てふれあい事業」の一環として実施します。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	病児・病後児保育の充実							掲載ページ
								43
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立	担当局
		126,276	千円	119,966	千円	施策名	保育サービス	担当課
								子ども家庭局
								保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	病児・病後児保育室を利用することで、保護者の子育てと就労の両立が可能な状態を目指します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	病児・病後児に対応するため、医療機関併設型の施設において児童を保育し、保護者の子育てと就労の両立を支援します。また、利用ニーズの高い地域において、2箇所の新規開設を目指します。病児・病後児保育室併設の医療機関に加え、各保育所や幼稚園など、対象の保護者が利用する施設でパンフレットの配布やポスターの掲示を実施します。また、市ホームページや市政だより等の情報誌へ掲載するなど、効果的なPRにより、事業の認知度上昇を図り、対象者の利用促進につなげます。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】
	病児・病後児保育事業を実施している施設の箇所数		9 箇所	11 箇所	11 箇所	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	病児・病後児保育については、保護者ニーズは依然として高い傾向にあり、特に、ニーズの高い地域においては、施設の新設が必要であることから、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）11箇所（平成26年度）				100.0 %		
	病児・病後児保育事業の効果的なPR		—	—	—	順調	順調
	関係各施設へパンフレットやポスターの配布、ホームページ上での掲載、市政だより等情報誌への掲載など、効果的なPRを行うことが、病児・病後児保育事業の周知につながることから、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）				やや遅れ	遅れ	

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成26年度は、ニーズの高い地域において2箇所の病児・病後児保育室の新規開設を行いました。また、「病児・病後児保育利用のてびき」やポスターを作成し、関係各施設で配布・掲示を行うとともに情報誌に利用案内を掲載することで、効果的なPRに努めました。加えて、市ホームページ上に利用申請書類を掲載し、保護者が自宅ダウンロードできるようにしました。以上のことから、活動は順調と判断しました。 なお、新規開設を含む11箇所で病児・病後児保育事業を実施し、登録者数・利用児童数は前年度に比べ増加しており、保護者ニーズは依然高く、その有効性は高いと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	国の補助基準額を踏まえた委託料で所用の人員配置をしつつ、多忙な小児科医の自助努力により事業を実施している状況から、コスト削減は困難と考えます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
平成31年度末までに3箇所の新規開設を行い、計14箇所での事業実施を目指します。